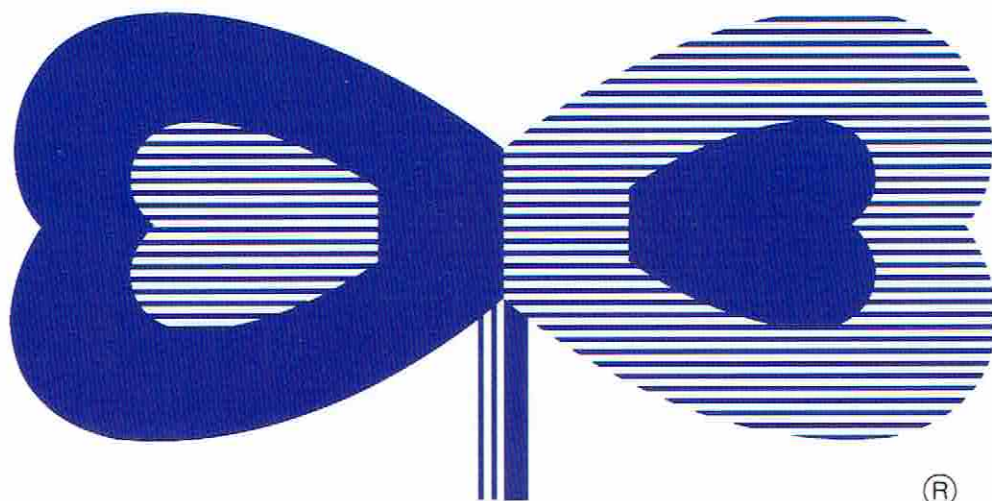


—酵素活性材— **有機物腐熟促進材**



コランネオ[®]

発酵促進 肥効増進 地力増強 強力脱臭 土壤改良

- 落葉を腐葉土に
- 購入堆肥の完熟化に
- ぼかし肥料づくりに
- 発酵肥料づくりに
- 購入堆肥とともに



コランネオは酵母、乳酸菌、麹菌培養物を米ヌカに吸着、各種ミネラル・糖・低分子キチンキトサン数種のアミノ酸を特殊組み合わせした発酵腐熟促進材です。

コランネオが微生物の活力素となり有効微生物の増繁殖を促し、発酵分解に伴う微生物の受け継ぎを活発にし発酵分解を早めます。また強力な脱臭作用もあります。

粉末 1kg入 10kg入 20kg入 があります

製造 **香蘭産業株式会社**

〒254-0003 神奈川県平塚市下島546番地 TEL: 0463-55-0528

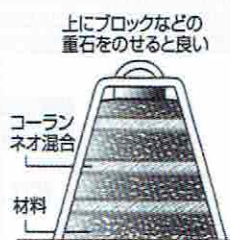
手軽に良い堆肥や肥料がつかれ、本来の土壌改良ができる

コーランネオの使い方

下記はコンポスト容器等を利用した場合の目安です。量を参考にお使いください。
春～秋対象です。冬場は期間を2倍にしてください。

腐葉土・堆肥づくり

落ち葉・雑草・切りワラなど



水分目安:はじめ60%→出来上がり40%

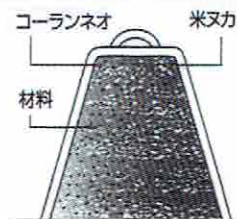
使用材料	コーランネオ	米ヌカ	ケイフン	
200L	400g	2kg	(4kg)	ケイフンは肥料成分を望まない場合必要ありません。材料がオカグスやモミガラの場合はケイフンをご用意ください。
1000L	2kg	10kg	(20kg)	

投入前に枯らした材料を良く踏みつけて給水させてください。コーランネオと米ヌカ、ケイフンを混ぜ、材料を4～5等分にし材料と交互に積み込み1ヶ月放置した後、切り返し(かき混ぜ)、2～3ヶ月の後使用します。その間、15日に1回は切り返し、水分が不足していたら加えてください。

購入した堆肥・腐葉土の再発酵

完熟化

腐葉土・牛フン・豚フン・ケイフンなど



使用材料	コーランネオ	米ヌカ
200L	400g	1.5～2kg
1000L	2kg	6～10kg

材料全てを良くかき混ぜ水分が握って開くと2つに割れるくらいにします。熱を持ち出すと未熟です。1ヶ月くらいおいてからご使用ください。その間、10日に1度は切り返し、水分が不足していたら加えてください。

オススメ くん炭ボカシ



コーランネオ	米ヌカ	くん炭	木酢液
200g	30kg	120L	200倍に薄めた液 10L

くん炭→米ヌカ→コーランネオの順に混ぜ合わせ木酢液を除々に加えてください。クロス(土のう)に入れて夏場2～3週間、冬場1ヶ月くらいした後ご使用ください。その間、2～3回切り返ししてください。発酵を止める場合、堆積山を広げてください。

発酵肥料づくり



(例) お客様の使用目的によって配合内容を変更ください。

コーランネオ	米ヌカ	油カス	魚カス	骨粉
450g	6kg	10kg	4kg	2kg

左記配合で、およそ N=5 P=5 K=1 の肥料ができあがります。

全てを混ぜ合わせ、2ヶ月くらい発酵させます。水分は50～60%にし、1週間後より2～3回切り返ししてください。そのまま使うか、好みの大きさの団子にして日陰で乾燥させ使用してください。発酵を止める場合、堆積山を広げてください。

土中すき込み

畑にまいた堆肥やきゅう肥、切りワラ、作物残さと共に



面積	コーランネオ	米ヌカ
1坪	60～70g	300g

堆肥:粗大有機物を分解したもの
きょう肥:家畜糞尿を分解したもの

牧草や作物残さは細断の上、良く枯らしてから土に混ぜてください。材料と共に散布し、土と良く混ぜてください。3～4週間後定植する。

10aに施用の場合(コーラン15～20kg、米ヌカ50～60kg)

堆肥化における菌類(微生物)の受け継ぎ

肥沃な土壌に微生物の数は数千万から数億も生息していると云われます。土壌微生物、発酵微生物、危険な微生物など肉眼では観察できない小さな生き物です。古来自然界でこのような生き物を利用した動きの一つが堆肥化やボカシなど農園芸で利用される有機物の有効化であります。条件よく堆肥化を行った場合、初期段階としてカビ類(酵母、糸状菌)が盛んに繁殖活動し40℃以上に発熱します。熱に弱いカビ類は熱に強い放線菌や桿菌の栄養になりながら繊維質のセルロースやリグニン(木質系)などを分解・増殖し、60℃以上の高温になり、酸素の取り合いをし、嫌気性菌も活動を始めます。堆肥化は好気性菌だけでなく、部分的には嫌気性菌も役割を担っています。この堆肥化の山を切り返し酸素を補い繰り返すと良い堆肥が出来上がります。このように単一の微生物ではなく多くの微生物によってつくられてゆきます。又、堆肥化する材料などに適した土着微生物等も受け継ぎに重要な働きをします。

堆肥は作付の2～3週間前に施し、耕しておくことが基本です。

本品は肥料や農薬ではありませんので直接植物に与える事は出来ません。必ず有機物や土壌に作用させてからお使いください。本品は有機酸を含んでいます。石灰類と同時混合をしないで下さい。使用後は直射日光・高温多湿を避けよく封を閉じ保管ください。長期間保存使用出来ます。たえず新しい技術を取り入れて予告なく改良しております。